

アソカ講話044

テーマ「命の伝承」

小さな人生論 2 巻第 4 章のテーマは「命の伝承」であった。参加者の素晴らしい感想があったので紹介したい。「ご利用者さんが入院先で亡くなった。帰ってきたら、してあげたいことがたくさんあったのに。ご利用者さんに今の自分を見てほしかった」と。

新人時代は特にそうだろう。自分の未熟さゆえに、できなかったことが多くある。そして段々できるようになる。「ああしてあげたかった、こうしてあげたかった。今の自分ならそれが少しできるようになっている」そう思える人は、そう思えるだけで素晴らしい。自分を素直に振り返り、努力し、そして今の自分を素直に受け容れられているからこそ、言える言葉である。

私はこう語った。「命の伝承とは思いの伝承でもある。あなたが A ご利用者さんを通して学んだことのご恩返しは、今、目の前にいる B ご利用者さんにあなたが学んだケアをしていくことですよ。先輩から教えられたことも一緒。先輩に恩を返すとは、10 年後にあなたが、自分が受けた恩を新しい職員にしてあげることですよ。それが命の伝承ですね」と。新人職員の素直な感性に感動を覚えると同時に、そのことで苦しまないでほしいと感じて述べた言葉である。